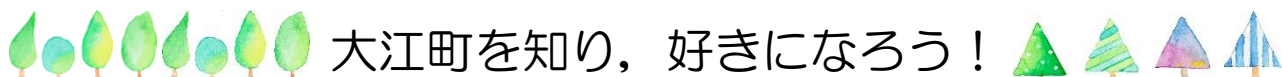




# あおぞ

大江町立  
本郷東小学校  
学校だより  
No. 3  
令和4年6月23日



このタイトルは、5学年冒険学校のめあてです。これを掲げ、6月16日（木）、17日（金）の2日間、「大江町山里交流館やまさあーべ」で冒険学校を実施しました。

出発式の話の中で、「大江町が好きなの？」と聞くと、5年生全員の手が挙がりました。そこで、「今よりもっと大江町が好きになって帰ってこよう」という話をしました。

冒険学校は学区内の自然の中での活動を通して、仲間との協力の大切さに気づかせるとともに、郷土を愛する心を育てることをねらいとして行っています。主な活動は、リバートレッキング、炊飯活動、むささび観察、田んぼの生き物調査です。

リバートレッキングでは、ウエットスーツを着て月布川を1kmほどさかのぼります。途中流れが速いところや深いところがありスリル満点です。流れに足を取られ流されそうになった友達を助けたり、手を取り合って協力したりしながら進んでいきました。手をつないで川にジャンプするのは、リバートレッキングの醍醐味です。

炊飯活動は、薪作りからのスタートです。その後、メタルマッチを使っての火起こし。火は点くものの薪に燃え移すのは至難の業です。何度も何度も失敗を繰り返しながらも、薪の並べ方を考えたり、薪の太さを変えたり試行錯誤しながらあきらめず挑戦していました。家庭では家族が作ってくれて、食卓に着くとすぐに食べられるカレーライスが3時間近くかけて自分たちで作るのですから、その味が最高なのは言うまでもありません。どの子どもも満面の笑みで「おいしい」「うまい」を連発しながら平らげていました。

1日目の最後の活動は、むささび観察。様々な蛙や鳥の鳴き声が響き合う夕暮れの一瞬、息をひそめてむささびが出てくるのを待ちます。結果は、モモンガ5匹、むささび3匹も見ることができました。なんと、館長さんも「こんなことは初めて」と言うほど珍しいことだったようです。

2日目の活動を終え、学校に戻り閉校式を行いました。そこで、「冒険学校に行く前よりもっともっと大江町が好きになった人？」と質問すると、全員が勢いよくサッと手を挙げました。その手の挙げ方から、本当に大江町がもっと好きになったのだなと伝わりました。2日間、ゲームもテレビもスマホもない自然の中で生活し、大江町の自然の豊かさ、家族のありがたさ、友だちを協力し合うことの大切さを十分に感じ、学んできた9人の子どもたちは、一回りも二回りも頼もしく見えました。学んできたことを、きっとこれからの生活に生かしていかけてくれることと思います。

コロナ禍以前のように、七軒地区のみなさんとの交流もできるようになることを願っています。

【校長 鈴木智香子】

